

頭字語から入る薬学部学生の
英単語学修資料作成の試み（ノート）

牧

純

松 山 大 学
言語文化研究 第38巻第2号（抜刷）
2019年3月

Matsuyama University
Studies in Language and Literature
Vol. 38 No. 2 March 2019

研究ノート

頭字語から入る薬学部学生の 英単語学修資料作成の試み（ノート）

牧			純 ^{*)}
畑		晶	之 ^{**)}
明	樂	一	己 ^{***)}
河	瀬	雅	美 ^{****)}

序 論

筆者らは、日々学部学生や大学院生たちの英単語力、専門用語の強化を教育の柱の一つとして、種々文献・資料^{1~31)}を参考としながら尽力しているが、彼らに接していると、いろいろな状況下で、ある種の悩みを耳にする。例えば、科学英語教育、ゼミ、卒業論文指導の現場において、“横文字（英単語、カタカナ語）の用語が馴染みにくい”との声が聞かれる。多種多様の科目を同時に学ばねばならない状況からしてそれは当然かもしれないが、そのたびに、以下のような改善の方針が筆者らの念頭からはなれることがない。

そのひとつ、個々の単語も大切であるが、以下のように、「頭字語」(acronym)と呼ばれる類のものが大事な一種の単語ではなかろうかということである²⁸⁾

それは、理系分野に実に多いが、理系ばかりではなく、日常様々な分野で、目にしたり耳にしたりする。時として意味内容の十分な把握もなく、何となく

*) 松山大学薬学部感染症学研究室

***) 松山大学薬学部薬品物理化学研究室

****) 松山大学薬学部分析化学研究室

*****) 松山大学薬学部有機化学研究室

覚えては、そのうちに消える。しかも、頭字語は矢継ぎ早に誕生する。現在いたるところで、イニシアルまで含めると略語のような用語が溢れかえっている。これらは、広義に「頭字語」と括られるものであるが、ひとつの単語のように見えるものも少なくない。

世間では、何となくそれらの意味を解しているつもりになっている。筆者らは、このような“洪水の渦”に巻き込まれたら大変であると、常日頃、危惧している。防止策としては、それらの内容をよく整理しておく必要がある。教育の現場にいる本筆者らは、この当然のことを長い間痛感している。

頭字語の中には、解析すれば確かにわかりやすく、意味内容もよく表しているものもある。よく知られたことではあるが、ペンクラブのPEN(Poet Essayist Novelist: 詩人、随筆家、小説家の集まりを集約した見事な頭字語)のように、意味内容を象徴した素晴らしい出来ばえのものもある²⁸⁾。その一方で、まるで1つの単語のように出来上がったものであり、意味内容の詳細は直ちには想像しにくいものもある。例えば、世界遺産で有名なユネスコのUNESCOはどうか。United Nations Educational, Scientific and Cultural Organizationと長いので、我々は逐一意識しながら語ることが稀である。

自然科学、薬学の教育の担当者は、専門とする分野の頭字語を多数教える。しかし学生たちに、その意味が十分伝わっているのか不安である。“わずらわしい、何となくとっつきの悪いもの”との感覚が少なからずの学生たちに付きまとっているのではなかろうか。引用してある辞書・資料(最後に掲載)を中心に、薬学生の英単語力増強を視野に入れた頭字語の蒐集に努めた。一部には、頭文字を掲げて一個一個を読む所謂 initialism も、頭字語として掲載した。

以上のような背景があって、本論では、alphabetのA letterからZ letter、それぞれで始まる頭字語を確認しながらそれぞれ数例ずつ取りあげてみた。

さらに、それぞれの単語について効率よく学ぶには、接辞、すなわち接頭語や接尾語をもおさえておくことももちろん肝要であると考えている。英単語の接辞に関しては、言語学的研究は少なくないし、素晴らしい名著の数々も出版

されているが、薬学部学生も是非とも学んでおいてもらいたいと、今回の論文別刷りを配布すべく、A～Zの例を付録として若干集めておいた。決して完成した辞書のようなものでなく、むしろ大きな辞書を引くことで、学生自ら接辞にふれるよい機会となれば幸甚である。

材 料 ・ 方 法

種々の資料¹⁻³¹⁾を参考にして今回の論文をまとめた。特に重要な箇所は本文に直接引用した。序論にあるように、この報文では、まず alphabet の A～Z letter, それぞれで始まる頭字語をそれぞれ数例ずつ掲げてみた。第一に、薬学学生に役立つようにと考えたが、薬学・科学以外の用語も加えて、頭字語に親しみを持てるように配慮した。それらは、スポーツや経済、時事の関係のものであるが、筆者の専門ではないため、時代遅れのものも含まれている可能性がある。

この論文においても一部には、頭文字を掲げて一個一個を読む所謂 initialism も、頭字語に類するものとして若干記載した。

次に、接頭語、接尾語を少しでもおさえておいてもらいたいとの考えから、薬学部学生向けの A～Z の諸例を集めた。実は現在も蒐集の途上であるが、学生たちにはこれを機会に興味と関心を高めてもらえればよいと考える。すなわち、すでに発表した論文・資料²²⁻²⁸⁾の内容をもとに、是非とも薬学の学生たちがこの 1 編で入門できるように考えて今回一応まとめてみた。最後に実際授業で用いているパワーポイントの資料も掲載した。学生たちに配布する別刷りに含めておきたいと考える。

頭字語編 収録 A～Z

A

AIDS (Aids) = Acquired Immuno-Deficiency Syndrome (いわゆるエイズ, HIV), 後天性免疫不全症候群。響きの似ているものに, 「補助」の意味の aide とか, band-aid 米国登録商標 (英国の商標は Elastoplast または plaster) がある。

AMTRAK = American Travel & Track, アムトラック, 全国鉄道旅客公社

ANA = All Nippon Airline, 全日空; “アナ” と発音するなら (実は世間一般でよく耳にする), 典型的な頭字語であるが, 当該の会社ではエイ・エヌ・エイと1つずつ発音している。JAL は通常ジャルと発音するので典型的な頭字語である。

APEC = Asia-Pacific Economic Cooperation Conference, アジア太平洋経済協力会議, いわゆる「エイペック」

ASEAN = Association of Southeast Asian Nations, アセアン, 東南アジア諸国連合

B

BASIC = Beginner's All-purpose Symbolic Instruction Code (初心者向け汎用記号命令コード)。これはコンピュータ言語の1つ。語源の通り, プログラミングの勉強をするのに入りやすい言語である。極めてポイントを得た頭字語である。

BYOB = Bring Your Own Booze, “飲み物は各自持参のこと” を意味する簡略表現

BAN = Best Asymptotically Normal, 最良の漸近正規

C

CAR = Civil Air Regulations, 民間航空規則 (飛行機ながら, “自動車” とは親しみ)

CHE = Complex Humanitarian Emergency, 複合人道的危機, よく出てくる分野ののひとつは国際保健²⁹⁾

COSY = Correlation Spectroscopy のことで, NMR 測定法のひとつである。

COX = Cyclo-oxgenase, シクロオキシゲナーゼ (COX 1, 2 が非ステロイド系抗炎症薬で出てくる)

D

DAC = Development Assistance Committee, 開発援助委員会 (国際保健で出てくる)

DnaA, **DnaB** = 分子遺伝学の用語。日本ではふつう“デュナエイ”“デュナビー”などと発音しているようであるが, 国と地域または研究室により, 違いがあるかもしれない。

DNA 頭文字を連ねた略語であるが, ふつう頭字語としては扱わない。

E

ECO = European Coal Organization, 欧州石炭機構

ELISA = Enzyme-linked Immunosorbent Assay, 酵素抗体法検査

EPI = Expanded Programme on Immunization, 予防接種拡大計画

F

FAB = Fast Atom Bombardment, 高速原子衝突, 質量分析の方法

FAO = Food and Agriculture Organization, 国連食糧農業機関

FASID = Foundation of Advanced Studies of International Development, 国際開発高等教育機構

FILA = Fédération Internationale des Lutttes Associées, 国際レスリング連盟

FIFA = Fédération Internationale de Football Association, 国際サッカー連盟

FTA = Free Trade Agreement, 自由貿易協定

G

GABA = Gamma amino butyric acid, ガバ (医療系分野ではよく知られた神経伝達物質のひとつ)

GEOS = Geodetic satellite, いわゆるジオス (アメリカの測地衛星)

GARP = Global Atmospheric Research Program, 地球環境調査計画

GATT = General Agreement on Tariffs and Trade, ガット, 関税貿易一般協定

H

HAART = Highly Active Antiretroviral Therapy, 多剤併用療法, HIV 感染症に対する強力な治療手段, 予後の改善が認められる。

HE = Human Engineering, 人間工学

HIS = Health Information System, 保健情報システム

HOMO = Highest Occupied Molecular Orbital, 最高被占軌道 (量子化学用語の一つで, 電子が入っている分子軌道のうち, 最も高いエネルギーをもつもの。後述する LUMO と併せてフロンティア軌道とよばれる)

HOT = home oxygen therapy, 在宅酸素療法

I

ICHI = International Classification of Health Interventions, 国際医療行為分類

ICOMOS = International Council on Monuments and Sites, イコモス, 国際記念物遺跡会議

ICOPA = International Congress for Parasitology, 国際寄生虫学会議 (日本の寄生虫学者の間ではアイコーパと言い習わされている)

IFA = International Football Association, 国際サッカー評議会。実際には FIFA を耳にする。次の2つと混同されるからであろうか。筆者にとり現在の検討課題である。上記のように, FIFA の FI は, 実はフランス語である。敢えてフランス語を用いることによって, 次の2つとの聞き間違いのないようにし

ているのであろうか。

Iraq Football Association, イラクサッカー協会

Irish Football Association, 北アイルランドにおけるサッカー統括団体

IFA = Independent Financial Advisor, 独立系ファイナンシャル・アドバイザー

ISISA = International Small Islands Studies Association, 国際島嶼学会

日本島嶼学会年報の島嶼学は、英語で nissology（大英和にはあるが、少々の英和辞典では出てこない）、nisi はギリシア語で「島嶼」の意味らしい。確かにギリシアはその多島海が特徴的である。

IUCN = International Union for Conservation of Nature and Natural Resources, 自然及び天然資源の保全に関する国際連盟（通称：国際自然保護連合）

IWA = International Whaling Agreement, 国際捕鯨協定

J

JADA = Japan Anti-Doping Agency, 日本アンチドーピング機構

JAS = Japanese Agricultural Standard, 日本農林規格

JAZA = Japanese Association of Zoos and Aquariums, 日本動物園水族館協会、新聞紙上によると昨今自然界からのイルカの入手が困難となっているとのことである。

JETRO = Japan External Trade Organization, ジェトロ, 日本貿易振興会

JICA = Japan International Cooperation Agency, 国際協力機構

JIS = Japanese Industrial Standard, 日本工業規格。我々は、上の JAS とともに、“ジス規格” をよく耳にしてきた。

JOMO = the joy of missing out, 見逃すことの喜び（他人がしていることや言っていることを見逃しているのではないかということ、もはや気にせずにいることから得られる喜び）、新しい語【NHK ラジオビジネス英語、2015年5月20日】

K

KAL = Korean Air Line, 大韓航空

KEMRI = Kenya Medical Research Institute, ケニア中央医学研究所（著者のひとり牧純は“煙”のように耳に慣れ親しんできた）

KID = Key Industry Duty, 基礎産業保護関税

KIR = killer cell immunoglobulin-like receptor, キラー細胞免疫グロブリン様受容体（直訳であるが、このように長いので、**KIR** という頭字語が使われる）

L

LAMP = Linux, Apache, MySQL and Programming Language, この組み合わせの上で動作するオープンソースのプログラムは多い。

LAMP = Linux, Apache, Web サーバ Maria DB-MySQL P for PHP-Perl-Python, ソフトウェアバンドル

LASER = Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation, 電磁波の誘導放出による光の増幅。本著者らはこれがもともと頭字語であるとは知らなかった。

LILR = leukocyte immunoglobulin-like receptor, 白血球免疫グロブリン様受容体（直訳では長いので、**LILR** という頭字語が使われている）

LUMO = Lowest Unoccupied Molecular Orbital, 最低空軌道（量子化学用語の一つ。電子が入っていない分子軌道のうち、最も低いエネルギーをもつもの。HOMO の項目参照）

M

MERS = Middle East Respiratory Syndrome, 中東呼吸器症候群；コロナウィルスが原因

MISRA = Motor Industry Software Reliability Association, C 言語のためのソフトウェア設計標準規格

N

NAS = National Academy of Sciences (米国科学アカデミー)。Proceedings of National Academy of Sciences (いわゆるプロナス) が有名である。

NEET = Not in Employment, Education or Training, いわゆるニート

NIID = National Institute of Infectious Diseases, 日本の国立感染症研究所 (旧予防衛生研究所)

O

OCA = Olympic Council of Asia, アジアオリンピック評議会

ODA = Official Development Assistance, 政府開発援助

OPEC = Organization of Petroleum Exporting Countries, 石油輸出国機構

OSCE = Objective Structured Clinical Examination, 客観的臨床能力試験: “オスキー” でよく知られた6年制薬学部生が, 薬局・病院実習に行く前に合格していることが前提となる実技試験。CBT (= Computer Based Testing) は, 発音からして initialism である。

P

PERT = Program Evaluation and Review Technique, パート (数学用語)

PAS = Para-Amino Salicylic acid (パス, パラアミノサリチル酸), 抗結核薬

PEN = Poet, Essayist and Novelist, 「国際ペンクラブ」はあまりに有名 (薬学生にも教える)

Q

QALY = Quality Adjusted Life Years, 質調整生存率, 国際保健²⁹⁾ で出てくる用語である。

QRST = QRST interval, 間隔。心電図において使われる重要な用語のひとつ。これも, 発音から判断して initialism である。

QUOTA = Quantitative Trade Restriction, 輸入数量制限

R

RADAR = Radio Detecting And Ranging, いわゆるレーダー（これも言い習わされて、これ自体1つの単語のようである）。

RAST = Radio Allgro Sorbent Test（血液中の特異的 IgE 抗体の測定によるアレルギーの同定）

REIT = Real Estate Investment Trust, 不動産投資信託

S

SARS = severe acute respiratory syndrome, 重症急性呼吸器症候群。いわゆる“サーズ”として、耳に馴染んでいる。

SCUBA = Self Contained Underwater Breathing Apparatus, 水中呼吸装置。スキューバダイビングは、極めて自然な外来語のように響き、ひとつの単語のように思えるが、実はもともと頭字語である。

SCUFN = Sub-committee on Undersee Feature Names, スカフン（海底地形名小委員会）

SEM = scanning electron microscopy, 走査型電子顕微鏡。透過型に比べ倍率は低い。表面構造の観察に便利。松山大学薬学部にも設置されている。

SLIM = Smart Lander Investigating Moon, 月面探査機。産経新聞のおやこ新聞（2015年5月3日）より。外来語の日常会話表現，“スリム”の響きがあるが、それは記憶の助けとなるにしても、意味内容の正確な把握が必要である。

SMON = Subacute Myelo-Optico Neuropathy, スモン亜急性脊髄視神経炎

SUV = Sport Utility Vehicle, スポーツ用多目的車, これも発音からして initialism である。“サヴ”と聞こえることもあるが、その場合は acronym と考えられる。

T

TEM = Transmission Electron Microscope, 透過型電子顕微鏡

TOPIX = Tokyo Stock price Index and Average, 東証株価指数

TOT = Transfer of Technology, 技術移転

U

UNESCO = United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization, ユネスコ；これは、まるで1つの単語のようである。国連の機関を指す表現には有名な頭字語が多い。

UNU = United Nations University, 国連大学

UNCTAD = United Nations Conference on Trade and Development, 国連貿易開発会議

UNEP = United Nations Environment Program, ウネップ, 国際連合環境計画²⁹⁾

UNICEF = United Nations Children's Fund, 現在の正式名称ユニセフ（以前は
UNICEF = United Nations International Childrens Emergency Fund）

ICAO = International Civil Aviation Organization, 国際民間航空機関

V

VA = Value Added, 付加価値

VAD = Vitamin A Deficiency, ビタミンA欠乏症

VAC = Vincristine, Dactinomycin [Actinomycin D] and Cyclophosphamide, いわゆるヴェアックという3剤による癌治療法

VAR = Video Assistant Referee, ビデオアシスタント・レフェリー

VIP = Very Important Person, ヴィップ

W

WADA = World Anti-Doping Agency, 世界アンチドーピング機構。スポーツ薬

学・医学では極めて重要な機構である。

WAZA = World Association of Zoos and Aquariums, 世界動物園水族館協会

WEIS = World Economic Information Service, 世界経済情報

WID = Woman in Development, 開発と女性, よく出てくる分野のひとつは国際保健²⁹⁾

X

XHTML = 発音 extensible hypertext markup language, 拡張可能ハイパーテキストマークアップ言語。Web ページを記述するための言語である。

XO = executive officer, 行政官

Y

YAG (yag) = yttrium-aluminum garnet, 電子工学の用語で, レーザーに用いられる結晶

YAR = York Antwerp Rules, ヨーク・アントワープ規則

Z

ZEG = Zero Economic Growth, ゼロ経済成長

ZIP = Zone Improvement Program, 郵便番号制度; これは, zip code として日本語化されている。

おわりに

次々と新しい頭字語が誕生する自然科学系では, 比較的容易に頭字語が見つかる傾向にあった。しかし, なかには, その分野の専門家にのみわかるようなものもある。それは, 学問の進歩が華々しいことを物語っているようで, 専門領域で矢継ぎ早に誕生するそのような語はその集団において重宝しているに違

いない。自分たちのグループにしか通用しないものも誕生していくのかもしれない。しかし、極度な乱発は考えものである。今回その様なもののリストアップは極力控えた。

今回の蒐集自体にもある種の偏りがあるが、今後、領域の幅を広げつつ、更に蒐集に努め、社会・経済情勢も念頭に置いた薬学生の教育に益々役立てていく所存である。その意味で、社会科学分野の頭字語も敢えて含めた。

頭字語を構成する個々の単語については、常日頃、接頭辞、接尾辞に注目しつつ、意味内容を理解し記憶を確かなものとするのが、語彙力を高めることになると昔からよく耳にしてきた。「急がば回れ」であろう。本論文では、接頭辞、接尾辞の例を付録1、2として掲げる。将来の『接辞辞典』を目指しながらも、これらは、今もって決して完成しているものではない。学生たちが頭字語の学修方向で役立てることを期待する。また現時点で、薬学生英語教育の教材として試みに用いているものを資料1に示しておく。これも含めた別刷りを学生に配布したいと考えている。諸賢のご教示を仰ぐ機会となれば幸いである。

付録1. 接頭辞編 収録 A～Z

A

a- (“中”など状態を添える接頭語) 次の“無い”意味の接頭語とは全く異なるものであることを教えておく必要がある²⁵⁾

aloof 超然とした, 無関心な, よそよそしい。

a- (“無い”意味の接頭語)

abasic site (塩基のない部位)

amastigote 無鞭毛期(寄生原虫トリパノゾーマ, リーシュマニアの増殖段階の1時期のことで実際鞭毛を欠く)

anhydrous 無水の

anorexia 拒食症 **anorexia nervosa** 神経性拒食症 ラテン系

aphasia 失語症

axenic 文字通りには“外からのものがない” **axenic culture** 一者培養 (= 外来物を含まない培養)

acro- (“端”を意味する接頭語)

acrosome 精子の頭部にあるリソソーム。some は袋の意味。学生にいくつかの意味の some としっかりと区別させる必要を感じる。

acronym 頭字語 (いくつかの単語の頭文字を連ねた, ちょうどひとつのような単語)

ad- (“向かって”, “傍ら”さらに強調などの意味合いの接頭語)

adverb (副詞), 動詞 **verb** に**向かって**修飾することから, 語源が理解できる。

adrenalin (アドレナリン) 学生が機械的に覚えるとするときつい。実は **ad-**は, この場合, 向かってというか, その上の意味合いがこめられている。**renalin**には腎の意味合いで, その上にある, 添えているような副腎のホルモン(髄質)は一応覚えてもらう。

adduce (例証する)が知られているが, その名詞形 **adduction** (手足などの内転)は医学専門用語である。**advantage** (利益)は **vantage** (優勢)を **ad-**で強めた単語

adjacent 隣接の, **neighboring**と同じような意味

after- (“後”の意味の接頭語)

afterlife 死後に存在すると信じられている生活

aftermath 災害などが起こった直後をさす名詞

ambi-, amphi-（“両方”の意味合いの接頭語）**ambience** 雰囲気 背景音**ambidextrous** 両手利きの**ambiguity** あいまいさ **ambiguous**（どちらともとれる）**ambient** 周囲の**ambisexual** 両性の**ambit** 周囲 範囲**ambition** 野心 選挙であちらこちら票を求めて歩き回る意味合いがあったとされる**ambivalent** 相反する気持ち（しばしば愛と憎しみ）をいただく（形容詞）**ambivalence** 両面価値**ambivert** 両面価値的な**amphibian** 両生類は水中と陸上の両方に生息する意味で、分かりやすい例である。**amphibious**（両方）の関連の名詞がこの両生類である。**ana-**（“離れる，逆方向，再び”の意味合いの接頭語）**anaphylaxis** アナフィラキシー。phylaxis は「予防」の意味で，pro-phylaxis「予防」の意味が一段と明確になる。接頭語 **ana-** が付くことによって，**逆に**症状を発症する様子をうかがわせる。**anaplasia** 首句反復，前方照応**angio-**（“血液”の意味の接頭語）**angio-cardiography** 血管心臓造影**angioma** 血管腫**angio-edema** 血管浮腫**angiology** 血液学，脈管学

angiopathy 脈管障害
angio-stenosis 血管狭窄
angio-tensin アンジオテンシン

anti- (反～；完全に日本語化されている接頭語)

antiseptics 抗菌剤
anticancer 抗癌性の
antihistamine 抗ヒスタミン剤
antipasto イタリア料理の前菜 (この anti- は“前”の意味である)
antitoxin 抗毒素

aqua- (“水”の意味の接頭語)

aquaporin アクアポリン：水分子は細胞膜を透過しにくいですが、この「アクアポリン」を介して透過が可能である。
aquaculture 水栽培

auto- (“自”に関係した接頭語)

autoinfection 自家感染 (多細胞の寄生虫では4種類のものに認められる)
autobiography 自叙伝 (自分の人生を書き記すことから)
autolysis 自己融解

B

bi- (よく知られた“2つ”の意味の接頭語) 2つの意味が生きている。

bicycle 自転車
bilateral 両方向
bimetal 両側性
biannual 年2回の

bicentennial 200周年の（米国での表現）、**bicentenary**（英国での表現）

biceps 二頭筋

bio-（バイオとして日本語化している接頭語）例は挙げるほどのこともないであらう。

biopsy 生検，生で見るのが語源

biosafety 生命に関する安全性

brady-（“ゆっくり”の意味の接頭語）

bradyzoite 緩増虫体，ブラジゾイト（原虫トキソプラズマの増殖の段階で，増え方がゆっくりであるもの） 反対語はいわゆるタキゾイト
tachyzoite

C

cardio-（“心臓”の意味の接頭語）

cardialgia infarction 心筋梗塞

cardio-vascular 心脈管系

cardiology 心臓学

cardioid カージオイド曲線（ハート形に似た）筆者には，高校数学で習った記憶がある。

chromo-（“色素”の意味の接頭語）

chromosome 染色体，-some は“体”の意味（somatic antigen もその意味がある）

cine-（“映画”の意味の接頭語）

cinema 映画

cinerama シネラマ

cinemascope シネマスコープ (登録商標)

cinematography 映画撮影

cinerarium 納骨所, この語尾は「場所」であることを意味する。

circum- (“周辺・状況の”の意味の接頭語) 次の例をみていると, 共通の意味合いが感じられる。

circumcise 割礼, 陰唇切除, **circumcision** 環状切除術

circumference 周辺, 円周

circumflex 曲折アクセント記号

circumlocution 回りくどい言い方

circumnavigate 周遊する

circumscribe 周囲に線を引く, 外接円を書く

circumspect 用意周到な

circumstance 状況

circumvent 迂回する

circum-oval 住血吸虫卵**周囲**におこる抗原抗体反応

contra- (“反対”の意味の接頭語) スペイン語では英語の *against* のように, 対抗の意味の前置詞である。

contrary 反対の

contradiction 反対 (単語の後半の部分は述べる意味)

contraverse 対偶 (単語の後半の部分は行く意味)

contraband 禁制品, 密輸, 密売

contrabass コントラバス, 最低音楽器の意味

contraception 避妊

crypto-（“隠れた”意味の接頭語）これ自体，すなわち **crypt** に「地下聖堂」の意味がある。

cryptoanalysis 暗号解読

cryptococcus 鳥類に寄生する真菌類の一種 日和見感染が問題となると薬学部で教える。

cryptosporidium 寄生原虫の1種クリプトスポリジウム

cryptogam 隠花植物 ⇔ **phanerogam**（顕花植物） **phanero** は“明らかな”の意味である。

cryptogenic 病気の原因が不明の

cryptogram 暗号 **cryptology** 暗号解読学

cryptocrystalline 隠微晶質の（岩石鉱物学の用語）

D

de-（“欠”の意味の接頭語）

debility 衰弱 能力（ability）の「欠損」していることが **de-** で示されている。

detoxify 解毒する

dextro-（“右”の意味の接頭語）

dextro-position 右位

dextrose 右旋糖

di-（“2つ”の意味の接頭語）

dilemma 板ばさみのジレンマ

distoma いわゆるジストマ，しかしこの表現は，もともとは“2つの口”の意味である。その1つは，正真正銘の「口」，もうひとつは「吸盤」なので，専門の日本寄生虫学会は，これを誤った表現として使用しない。

disulphide いわゆるジスルフィド結合 (S-S 結合), タンパク質の構造体に見られる。例: インスリン

dis-, dys- (“打ち消し”の意味の接頭語) ここでは **dys-** を中心に掲げる。この2つは**一見似ているが**, 語源は異なる⁵⁾

dysfunction 機能不全

dyslipidemia 脂質異常症, 高脂血症は hyper-lipidemia

dyspeptic 消化不良の

dysplasia 異形成

dystrophy 筋肉ジストロフィー

E

endo- (“内の”を意味する接頭語) 学生の間で時に誤解があるが, 文献²⁵⁾にも示したように **endo-** は断じて末端 (**end**) の意味ではない。

endo-peptidase 内側を切り離す酵素活性を示すペプチダーゼである。

en-demic 浸淫, 人々 (**demic**) の間に伝染病などが浸淫していることを表す。

endo-crine 古典的定義の内分泌; リガンドであるホルモンは分泌細胞から分泌され血流に乗って標的細胞の受容体に結合する。これはペプチド系ホルモンの場合で, ステロイド系ホルモンは標的細胞内に直接入り作用する。

比較の意味で参考までに次の語もあげておく。

paracrine ホルモンが血流を介さないで, 近傍の標的細胞に作用するケース。精巣におけるテストステロンは, **Leydig** 細胞から分泌され, 周辺の細胞に働きかけ精子が形成される。

autocrine 細胞が産生したホルモンが, 産生細胞自体を調節する自己分泌。神経伝達物質, サイトカインなどが該当する。

epi-（“上”の意味の接頭語）

epidemiology 疫学 demio は「人々」（民主主義の demo-cracy から理解される）。

epimastigote 上鞭毛期, これは専門的であるが, 原虫トリパノゾーマの発育の1段階をさす。

epithelium 上皮, 皮膚科学でよく出てくる。

epinephrine エピネフリン, 腎臓の上にある (epi-) 副腎のホルモン (副腎髄質のホルモン) すなわちアドレナリン

epigram 警句

eu-（“正常”の意味の接頭語）次の2例は **dys-** と対にして理屈で以って理解出来るし, 又記憶の助けとなるものである。

eupepsia (正常消化) ⇔ **dyspepsia** (消化不良)

eupnea (正常呼吸) ⇔ **dyspnea** (呼吸困難)

eubacteria 真正細菌

eucaryote 真核細胞の

ex-, exo-（“外の”を意味する接頭語）前大統領 **ex-president** などが好例。

exo-peptidase ペプチドを外側から切り離すペプチダーゼ

excellent すばらしい

evidence 証拠, 『東大英単』²⁰⁾ 外から見ても明白の意味から来ている (ex- が e- となっている, **vide-** は見ること)。

evolve 進化する

exodus 外に出てゆくこと, 大移動

extra-（“外れた”意味の接頭語）

extraordinary についてこの分解だと分かりやすい。高校時代に強引な機械的

記憶を試みたことを思い出す。

F

febri- (“fever” とか “熱” の意味の接頭語)

febricant 発熱性の

febricide 解熱薬

febrifuge 解熱薬, antipyretic

febris 熱病

full- (“最大限” の意味の接頭語)

full-time 専任の, もちろん反対は parttime

full-timer 常勤者

full-fledged (十分に羽毛が生えそろった意味から) 一人前の

G

gene- (“生み出す” ことと関係のある接頭語)

genealogy 系統学

geneism 遺伝子差別

gynaeco-, gynec- (“婦人・女性” の意味の接頭語)

例えば, 婦人科学は **gynaecology**。産婦人科は厳密には産科・婦人科の2つをひとつにした用語で, 英語表現 **obstetrics and gynaecology** のそれぞれに対応している。

gynecologist 婦人科医

H

hemo- (“血” を意味する接頭語)

hemodialysis 血液透析

hematology 血液学

hemophilia 血友病

hemolymph 昆虫の血体腔に流れる血リンパ液；寄生虫幼虫が寄生することで、その昆虫が中間宿主となることがある。

hemostatics 止血薬

hetero-（“異なる”意味の接頭語）

hetero-geneous（異質の）その逆は，**homo-geneous**（同質の）

heterotopic 異所の

hide-（“家畜の皮”の意味の接頭語）

hidebound 家畜のやせた，頑固な

high-（“高い”意味の接頭語）

high-profile 知名度の高い

hier (o)-（“神聖”の意味の接頭語），次の単語には神聖な意味合いがこめられている。

hieroglyph ヒエログリフ

hierarchy ヒエラルキー

hippo-（“馬”の意味の接頭語）

hippo-potamus 河馬（字面どおりには“馬河”で日本語ではひっくり返しである）。**potamus** は河の意味（後述）。

hippocampus 海馬，**hippocampal** 海馬の

holo- (“完全” を意味する接頭語)**holocaust** 大虐殺**holoenzyme** 補酵素と結合して活性を示すようになった酵素**holomyarian** 線虫の断面の構造で筋肉のタイプ分けに使われる用語**hydro-** (“水” を意味する接頭語)**hydrant** 消火栓**hydrocarbon** 炭化水素**hydrocephaly** 水頭症 (寄生原虫のトキソプラズマの先天性4大徴候のひとつとして教える)**hydrocortisone** ヒドロコチゾン (水酸基のあることから)**hydroplane** 水中翼船**hydrophyte** 水生植物, **phyte** は「植物」**hydrosphere** 水圏**hydrangea** 紫陽花 (アジサイ)**hyper-** (“超” を意味する接頭語) 日本語化されていて分かりやすい。**hyper-acid** 胃酸過多**hyper-activity** 活動過多**hyperuricemia** 高尿酸血症**hyperventilation** 過換気症候群**hyperbola** 双曲線**hypo-** (“下” の意味の接頭語)**hypocrite** 偽善者**hypodermis** 皮下

hypogene 岩石が地下深いところで生成された，深成の。その反意語は **epigene**（表成の）

hypogean 地下性の

hypoglycemia 低血糖

hypophysis 下垂体

hypoplasia 発育不全の

hypotensive 低血圧の

hypotenuse 直角三角形の斜辺

hypothesis 仮説（論説の下地をなすもの）

hypno-（ギリシャ神話 Hypnos 眠りの神由来の接頭語）

hypnalgia 夜間神経痛

hypnic 催眠の

hypnogenesis 催眠

hypnolepsy 嗜眠症

hypnotherapy 催眠療法

hypnotic 催眠薬

hypnotize 催眠術にかける

hypnozoite 肝臓内休眠原虫

|

in-（打ち消しを意味する接頭語）これに関する例は多いので一部のみ記す。

insomnia 不眠（症）

in-activate 不活化させる **inactivated vaccine** 不活化ワクチン

invisable- 見えない **invisable trade** 貿易外収支

irrational 合理性を欠く

iso- (“同等”の意味の接頭語)

isoenzyme (isozyme) アイソザイム

isosceles 二等辺三角形

isotope アイソトープ

J

juxtra- (“近傍”意味の接頭語) このことは泌尿器科医の著したテキストに示されている²⁾

juxtra-articular “腎糸球体近接の” **juxtra-glomerular** などが例として挙げられている。

juxtra-articular 関節近接の

juxtra-position 近位

juxtra-pyloric 幽門近接の

K

keto- (“ケトンの”ケトン基の意味の接頭語)

ketogenesis ケトン生成

ketouria ケトン尿症

ketosis ケトン症

L

litho- (“石”の意味の接頭語)

lithosphere 岩石圏

lithogenesis 結石形成 (genesis は勿論生み出されること)

lithograph 石版印刷

cholelithiasis 胆石症

urolithiasis 尿路結石症

M

macro-（“大きい”も日本語化されている接頭語のひとつ）多数の例が存在

macrophage 貪食細胞

mal-（“悪い”意味の接頭語）

malediction 悪口, **mal-**「悪い」 + **diction**「話し方・言葉遣い」

malignant 悪性の

malabsorption 吸収不良

maladaptation 不適応

maladjusted 調節のうまくゆかない

mani-（“手”に関連した接頭語）

manipulate 操作する

manual マニュアル

manufacture 手工業

manuscript 原稿（もともとは手書きであったことから）

mandate 統治を委任する

matri-（“母”の意味の接頭語）

matricide 母親殺し、昔のローマ帝国の暴君ネロの行為がよく知られている。

matrix マトリックス、もとの意味は“母体・基盤”

mega-（よく知られた“大”の意味の接頭語）

megapolis メガポリス, **megacity** のような巨大都市

meso- (“中” の意味の接頭語)

mesoderm 中胚葉

mesoderm 中皮膚

mesencephalon 中脳

meta- (“後・上” の意味の接頭語)

metaphysics 形而上学

meta-cercaria は cercaria の後の段階の寄生虫の幼虫

meta-morphic rock 変成岩 後で形成された岩石

morpho- (“形態” を意味する接頭語)

morphology 形態学

morphogenesis 形態(体)形成

N

necro- (“死, 死体, 壊死” の意味の接頭語)

necrogenic 腐肉から生ずる

necrology 死亡者名簿 過去帳

necrophilia 死体愛

necrosis 壊死 necro-「死」 + opsy「検査」

necropolis 廃墟の都市

neuro- (“神経” の意味の接頭語)

neurotransmitter 神経伝達物質

O

ob-（“対象”の意味合いがある接頭語）

object 対象, 目的物

obstetrics 産科学。後半の **stetrics** は立ちあいの意味がこめられている。

obduracy 強情 **obdurate**, 頑固な **obdurately**

obnoxious 不快な, **noxious** 有害な

obfuscate 混乱させる

obnoxious 不快な, **noxious** 有害な

absolute 退化した, 時代遅れの

octo(a)-（“8”の意味の接頭語）

octave オクターブ（これはよくわかる）

October 10月（**October** は文字通り第8番目の月であった。古代ローマで冬の間は月のカウントが無かったため第8番目は現在の8月でなく現在の10月に相当する）

octopus タコ（蛸）, 8本足の意味から

onco-（“球形または癌”の意味の接頭語）

oncology 腫瘍学

oncosphere 球形の幼条虫, 卵内の幼虫で専門用語は「六鉤幼虫」

opistho-（“背後に位置するもの”の意味の接頭語）

opistho-graph 両面書き写本

opithenar 手の甲

opithobranch 後鰓類（こうさいるい）, ナメクジのように鰓が心臓よりも後ろに位置する類

osteo- (“骨”の意味の接頭語)

osteology 骨学

osteopath 整骨医

osteoporosis 骨粗鬆症

P

paleo- (“古い”意味の接頭語)

paleobiology 古生物学

paleoparasitology 考古寄生虫学

phanero- (“明らかな”意味の接頭語)

phanero-crystalline 顕晶質の(肉眼で分かる大きな結晶についての専門用語)

phanerogam 顕花植物

phanerogenic 病気の原因が明らかな

peri- (“周囲の”を意味する接頭語)

peripheral 肛門周囲は **peri-anus** その形容詞形は **peri-anal** (肛門周囲の)

perianal examination 蟻虫(ギョウチュウ)の肛門周囲セロファンテープ検査

periplasm ペリプラズム (細胞の構造に関する用語で和訳は周辺質)

poikilo- (“色・形の変化のある”意味の接頭語) 反対は **homeo-**, **homeopathy**

同種療法の様に, **allopathy** 逆症療法

poikilo-cyte 変形赤血球

poikilo-thermal 変温動物

pro- (“前”の意味の接頭語) 前進のための **pro-peller** プロペラは興味深いと思っ

た²⁵⁾ 幼児のときから馴染んでいる言葉の本当の意味がわる瞬間は大学生

になってからというのは決して稀ではない。感激の瞬間である。ついでに
ex-pel 排除する意味もよくわかる。ex- は外へ、pel は移動の意味である。

procaryotes 原核生物 ⇔ **eucaryote** 真核生物

profess 人前で話す, **professor** はそのような職業活動をする者, 教授である。

procrastinate 先延ばしする。その反対に, **pre-crastinate** なる語もあるが, 筆者らにはまだなじみが薄い。

prostagrandin プロスタグランジン

protozoa 原生動物

pseudo-（“擬似”の意味の接頭語）

pseudo-coel 擬体腔 線虫類の体構造の一部

pseudonym 仮名

pseudoscience 疑似科学

psych-（“心”に関係した接頭語）

psychedelic サイカデリック

psychology 心理学

psychiatry 精神医学

pyro-（“熱”を意味する接頭語）

pyrogen 発熱物質

pyrolysis 熱分解

Q

quadr-（“4”の意味の接頭語）

quadrangle 四角形

quadrate 正方形

quadricyclane クアドリシクラン, 四環性の脂環式炭化水素の一つ

quadrupole 四極子 多重極子の一つ

quasi- (“擬似”の意味の接頭語) これはもともとラテン系の接頭語で, 英語なら *as if* で “あたかも” の意味が込められている。例えば, **quasi-judicial** 半司法的に

quasi-cholera 疑似コレラ

quasi-war 準戦争

R

radio- (“放射”の意味の接頭語)

radian ラジアン

radiation 放射

radiation 放射線

radium 放射性元素のラジウム (略号 Ra)

radius (橈骨)

re- (よく知られた “再び” の意味の接頭語)

remedial education は大学入学後の再教育, 補習教育などでよく使われる表現。

reclamation 埋め立て, 更生

re-surrect よみがえらせる

remorse 後悔する **re-** 再び + **-morse** かむ

retro- (“昔に遡って”の意味の接頭語) 日本語でも “レトロ調” などといわれる。

retro-virus レトロウイルス, エイズウイルスがその例, 微生物学・分子生物学の授業で出てくる。ふつうは DNA から RNA への転写が行われるが, それとは逆であることを学生たちは理解してくれているはずであ

る。ただしこれは接頭語としての理解である。

retrospective 回顧 ⇔ **prospective** これもペアで是非とも学生に教育したい。

retro-infection 蟻虫（ギョウチュウ）の卵はヒトの肛門周囲に産み付けられる。それが孵化して現れた幼虫が同一患者に再感染することをいう。“さかのぼっての感染”である。

retroject 後ろに投げる **retro-**「後方」 + **ject**「投げる」

S

self-（“自己”の意味の接頭語）

self-driving vehicle 自動運転車

self-identity 自我

self-medication セルフメディケーション

sub-（“下”の意味の接頭語）このことは学生たちも何となく知っている。いちいち分解するまでもない日常語となっているものも多い。

subway 地下鉄

subunit サブユニット

sub-marine 潜水艦

sub-cuticle 角皮下層、表皮である角皮 **cuticle** の“下”に位置する層である。これは医寄生虫学（松山大学薬学部では微生物学）で教わる用語である。線虫類の体壁の構造の理解には不可欠である。

sub-sist 生存する、存在する **sub-**「下に、下位に」 + **sist**「立つ」

suffix 接尾語 **suf-** は **sub-** から転じたもの²⁰⁾

super-（“超”の意味の接頭語で、これも日本語化されている）

supernatural（超自然的な）。大学によっては職種名で、「スーパー（**super**）特任」なるものもある。

supra- (“上位”の意味の接頭語)

supranational 超国家的な

supraorbital 眼窩上の

suprarenal 腎臓より上の (すなわち副腎の)

supreme 最高の

sur- (“上位”の意味の接頭語)

surface 表面

surname 名字

surplus 剰余

surcharge いわゆるサーチャージ (団体海外旅行などで更に上乗せのような支払い)

syn-, sym- (“同じ”意味の接頭語)

synapse 神経接合のシナプス

syndrome 症状

symptom 兆候, 徴候

T

tachy- (“急速な”意味の接頭語)

tachycardia 頻脈

tachypnea 頻呼吸

tachyphylaxis タキフィラキシー (脱感作のうち, 特に**急性のもの**)

tachyzoite タキゾイト, **急速に**増殖する寄生原虫トキソプラズマの時期

tri- (“3つ”の意味の接頭語)

adenosine-triphosphate (ATP) アデノシン三リン酸

tri-lateral（3者間の）は3国間協議などが出てくる。

U

ultra-（“超”の意味の接頭語）日本語の“超”で置き換えればよいことが多いが、紫外線のように“外”もある。

ultra-conservative 超保守的

ultra-violet 紫外線

un-（否定を表す接頭語）例は枚挙に遑がない。

undeter くじけない

unflappable ものごとに動じない

unfiltered 選別されていない，裏付けのない

V

ventro-（“腹側の”意味の接頭語）

ventral 「腹側の」意味で医学の専門用語に出てくる。

ventral sucker 腹吸盤，吸虫の“口”に似た部分で医寄生虫学の重要な専門用語である。

ventral chord 腹索（線虫の索のひとつ）

vice-（“副”の意味の接頭語，悪徳を意味する形容詞とは勿論別）

vice-president 副大統領

vita-（“生き生きとした”意味の接頭語）

vitamin（ビタミン）

vitalize（活性化する）

vitro- (“ガラスの” 意味の接頭語) ビードロ細工は南蛮貿易の時代, 日本に入ってきた伝統工芸品

in **vitro** 試験管内の

vivo- (“生きている” 意味の接頭語)

in **vivo** 生体内の

W

with- (もともと“反抗”の意味の接頭語であるが, 意味は変化していることもある)

withdraw 取り消す

withhold 留保する

withstand 耐える

notwithstanding (前置詞)「耐えられない」ことから“にもかかわらず”

whole- (“全体”の意味の接頭語)

whole-saler of drugs 医薬品一般販売業

whole-body 全身 **whole plant** は接頭語というよりはむしろ形容詞である。生薬学でいう使用部分が「全草」である意味の英語表現

witch- (“魔”の意味の接頭語)

witchhunt 魔女狩り

witchcraft 魔力, これは薬学史の授業で登場する。

bewitch 魔術にかける

X

xantho- (“黄色”の意味の接頭語)

xanthoprotein reaction 蛋白質の定性反応として用いられるキサントプロテイン反応

Xanthopan morgani キサントパンズズメガ 口器・口吻が大変長く 28 cm にも達する。ダーウインの進化論「適者生存説」の例証のひとつとなる。

xantho-chroid 黄色人種の

xeno-（“外から”の意味がある接頭語）

xeno-diagnosis ゼーノディグノシス（サシガメに吸血させてトリパノゾーマ感染の有無を診断する伝統的方法であるが、現地でもあまり人道的とはいえないという意見が増している。）

xeno-phobia 外国人嫌い

xeno-logy 地球外生物（SFなどで出てくる）

xylo-（“木の”意味の接頭語）

xylose キシロース

xylo-phagous 食材性の（木を食べる意味から）

xylophone 木琴（木+音）

Y

year-（“年”に関係した接頭語）

year-book 年報, 卒業記念アルバム

year-end 年末

year-ling 1年子（満1～2歳の動物・家畜）, 生まれた翌年の1月1日から1年未満の競走馬

year-long 1年間続く

Z

zoo- (“動き”のあることを示す接頭語)

zodiac 黄道十二宮 (何座の生まれであるかを話題とするとき、確かに動物名が出てくる)

zoo 動物園

zoology 動物学

zoom ズームレンズ

zoonosis 人畜共通症 (動物+症)

zoophobia 動物恐怖症, zoo 動物 + -phobia 「恐怖症」

付録2. 接尾語編 収録A～Z

A

-a (女性名の語尾にしばしば見られる -a は、実は女性名であることを示す大切な語尾語)。Maria マリアのように。ノーベル物理学賞受賞の江崎玲於奈博士の氏名の名が、欧米で、女性名と間違えられかねないとの配慮のためか、英語名は Leo となっている。欧米で知識のない人々の間では、マリコ (真理子など) Mariko は男子名かと間違えられることにもなりかねない。

-ac (“～的, ～性” というような意味の接尾語)

melancholiac 憂鬱な

-age (“状態”を示す接尾語) 名詞が造られる。「集合的な」意味合いを示す。

baggage 集合的な意味での荷物類

bondage 結合

coverage 覆うこと

foliage (集合的に) 葉

herbage (集合的に) 草類

-aholic, -oholic (alcoholic “アルコール中毒”の連想による接尾語)

bookaholic 本の虫を形容

cashaholic 現金三昧の

drugholic 薬漬けの

workaholic 仕事中毒

writaholic たくさん書き過ぎる

-algia (“痛み”を意味する接尾語)

arthralgia 関節痛

neuralgia 神経痛

nostalgia 郷愁。薬学生は、まずこの語の接尾辞から入っていくのがよいと思う。郷愁もいわゆる「ホームシック」と考えれば、“痛み”を伴うと解釈される。nost は、ギリシア語で“故郷へ”の意味がある。

-ance (“行為・状態”を示す接尾語⁵⁾)

acceptance 受理 (receive 受領とは区別) 科学の世界では厳密に区別する。

resonance 共鳴

significance 重要性

tolerance 耐性

utterance 口に出すこと

-ary (特徴, 属性を示す接尾語⁵⁾)

sedimentary rock 堆積岩, **sedimentation**「沈殿」は薬学実験系学生に必須単語。

-ase (語尾にこれがつくとその単語が“酵素”であることを意味する接尾語)

本著者等は、「もはや日本語化した“アーゼ”は、酵素を示すものだ」との認識でよいと考えるが、いかがなものだろうか。現在登山・スキー関係で、もとはドイツ語、すなわち外来語ながら、現代の日本でふつう

に使用されている語彙は多々ある。とはいえ、現在ではアメリカの研究が世界をリードしている。アメリカで誕生した酵素名は、“～エイズ”と発音する傾向にあるのかもしれない。

B

-blast (“芽細胞”の意味の接尾語)

ectoblast 外胚葉 (ecto- は“外の”意味の接頭語)

epiblast 胚盤葉上層 (接頭語の epi- は“上皮”の意味がある)

erythroblast 赤芽球, 赤芽細胞

fibroblast 線維芽細胞。fibro- は, fiber で容易に推察されるように, “線維”の意の接頭語である。接頭語と接尾語を逐一訳して合成した, わかりやすい又覚えやすい訳語である。

megaloblast (悪性貧血にみられる) 巨大赤芽球, megal- はもちろん“巨大な”意味である。

-bound (“～方面の, 閉ざされた”意味の接尾語) これに関して, 他でも例があるが, 現在でも, いまだ熟してなくて, ハイフンを必要とする接尾語的接辞も存在する。

duty-bound (to do so) (そうする) 義務があって

home-bound 国や家に帰る, 家に引きこもった

westbound 西の方向へ

rock-bound (文字通りには) 岩に囲まれた

storm-bound ストームのため閉じ込められた, 孤立した

C

-cele (“瘤, 膨れ”の意味の接尾語)

cystocele 嚢胞 (のうほう), 包囊。cysto- 自体に“囊”の意味がある。

varicocele 静脈節瘤

-centesis（“刺” という意味の接尾語）

paracentesis 穿刺

-centric（“中心をなす” 意味の接尾語）

biocentric 生命中心の

eccentric 変に偏った, 中心からはずれた, 偏心の（生物学用語）

matricentric 母親中心の, 母方の

excenter 傍心（傍心円の中心）

-cide（“殺す” 意味の接尾語）。suicide 自殺が典型例ではあるが, 次の例のように決して悪い意味のみでない。

febricide 解熱剤

-cle (-cule)（“小さい” 意味の接尾語, いわゆる縮小辞）

article 記事

chronicle 年代記

cuticle 角皮（寄生線虫類体壁の最も外側の層）, その下は **sub-cuticle**。キューティクルケアは日常生活で, 耳にする表現

particle 小粒子, 例えば PM2.5 ミクロン

tentacle 触角, 触手

testicle 睾丸

vesicle 小胞（生物学用語）

-coccus（“～球菌” という属名を意味する接尾語で, 細菌の学名に見られる）
ちなみに, “～球菌” はすべてグラム陽性菌

Enterococcus 腸球菌

Staphylococcus ブドウ球菌

Streptococcus 連鎖球菌

細菌でなくて、糸虫（サナダムシ）であるが、*Echinococcus* なる属名（エキノコックス属）にも接尾語としての **-coccus** が認められる。その幼虫は人体内などで、“球状”を呈する。主に北欧、シベリア、北米、アフリカケニアに分布する。日本では北海道に存在する。

-coele（“体腔”の意味の接尾語）

hemocoele（節足動物・軟体動物の）血**体腔**、接頭語 **hemo-** は、**hemoglobin** に見られるように「血液」の意味。

-cur（“走る”意味の接尾語）

incur 災いなどを**招く**

occur 起こる 存在する。名詞は **occurrence**

recur 再発する。この名詞形である「再発 **recurrence**」はマラリアに関する専門用語でもある。

-cyte（“細胞”の意味の接尾語²⁶⁾）

erythrocyte (= **red blood cell**) 赤血球。これは薬学の初級学年の学生の段階で全員が記憶しておくべきである。

granulocyte 顆粒球（好中球・好酸球・好塩基球）

leucocyte (**leukocyte**) (= **white blood cell**) 白血球。一般にはリンパ球、顆粒球（好中球・好酸球・好塩基球）、単球の総称。

lymphocyte リンパ球。NK細胞、B細胞（Bリンパ球）、T細胞（Tリンパ球）がある。なお、NK細胞（腫瘍細胞を殺傷する細胞）は、近年では細胞障害性T細胞（CTL; **cytotoxic T lymphocyte**）と呼ばれることが多くなっている。

megalocyte 巨大赤血球

monocyte 単球（これが血管の外に出て、細菌や異物を貪食するマクロファージとなる）

phagocyte 食細胞（マクロファージ，樹状細胞，好中球）。

D

-derived（“由来する”意味の付加の表現）サイアンス領域でも多い語。まだ熟していないか，意味を判りやすくするためハイフンを付することもある。

myeloid-derived suppressor cell (MDSC) ミエロイド由来サプレッサー細胞，
骨髄由来免疫抑制細胞

-dynia, -odynia（“痛み”の意味の接尾語）接頭語にもなる。例えば，**odynophagia** 嚥下痛で，この単語には接頭語 **odyno-** に“痛み”が含まれている。

allodynia 異痛症（有害でない刺激によって産み出される痛み）

acrodynia 先端疼痛症（水銀中毒の小児症例が典型的）

E

-ectomy（“切除”の意味で使われる接尾語）

appendectomy 盲腸の摘出

gastrectomy 胃摘出手術

hepatectomy 肝摘出手術

hysterectomy 子宮切除術

mastectomy 乳癌の摘出

nephrectomy 腎臓摘出

-emia（血液の状態に関する表現に見られる接尾語）

bacteremia 菌血症（血液中に細菌が存在する状態）

hydraemia 水血症

hyperemia 充血

leukemia 白血病

parasitemia 寄生虫感染率, 例えばマラリア病原体の寄生を受けている**赤血球の割合%**をいう。

-er (または -or) (“行為者”を意味する接尾語, 和製英語で乱造) **-or** との間違いが, 入学試験・模擬試験等で出題される間いとなる。

player プレイヤー

staffer 部員

teacher 教師

-ery (状態, 行為を示す接尾語)

adultery 不倫

discovery 発見

recovery 回復

robbery 窃盗

scenery 風景 (全体的, 点景なら scene)

-eous (~性の接尾語)

igneous rock 火成岩

aqueous rock 水成岩, ちなみに変成岩は metamorphic rock

F

-firm (“確かな”意味合いを添える接尾語)

affirm 確言する

affirmative 肯定的な (affirmative action などに見られる)

confirm 確認する (ともに確認するが原義)

infirm 病弱の(確かでないこと)。この名詞形は **infirmity** 虚弱。in- は打ち消しの意味。

-free（よく知られた“～がない”意味の接尾語）日本語化している。

barrier-free いわゆる“バリアフリー”（バリアーがない）

duty-free 免税の（課税されない）

pollen-free hinoki（英語の *cypress* に近い）花粉を放出しないヒノキ（檜），
日本で発刊の英字新聞でみかけた表現。

side-effect-free 副作用のない

specific-pathogen-free 特別な病原体のない（実験用ネズミなど）

-friendly（～に優しい意味合いの接尾語）

age-friendly 高齢者に優しい

earth-friendly 地球に優しい

child-friendly 子供に優しい，子供のことを考えたレストランなど

eco-friendly 環境に優しい

user-friendly ユーザーの身になった

environment-friendly 環境にやさしい

-fuse, -found（“注入して，作り上げる”意味の接尾語）。接頭語により意味が次のようにふれる。

confuse 混乱する

confound 混乱させる

diffuse 拡散する

effuse 発散・放出する，させる。花序が分散した意味もある。

infuse 注入する

refuse 拒絶する

transfuse 輸血する

G

-gen (“源, 元”を意味する接尾語; 偶々発音が似ているにすぎないが, 暗記の助けにはなる)

antigen 抗原

carcinogen 発癌性物質

endogen 内側から生ずる, 内生の **endogeneous**

estrogen エストロゲン 「estrus 雌の発情現象」から理解される。

androgen 雄性ホルモン **andr-** 雄性の

exogen 外因の **exogeneous**

fibrinogen フィブリノーゲン

glycogen グリコーゲン

mitogen 有糸分裂誘発因子

pathogen 病原性

pyrogen 発熱物質, 発熱因子

-genesis (“生み出すこと・生成”を示す接尾語)大文字で始まる **Genesis** は創世記。

carcinogenesis 発癌

glycogenesis 糖新生

lithogenesis 結石形成

morphogenesis 形態形成

neogenesis 組織の再生・新生

oncogenesis 腫瘍発生

osteogenesis 骨形成

-gon (“角形”の意味の接尾語)

trigon 三角形

tetragon 四角形

- pentagon** アメリカ国防省, 普通名詞では五角形。ちなみに函館の五稜郭も想起
- hexagon** 六角形
- heptagon** 七角形
- octagon** 八角形
- nonagon** 九角形
- decagon** 十角形, **deca-** はよく知られた“10”の意味の接頭語
- polygon** 多角形

-graph (“描くこと”を意味する接尾語)

- opisthograph** 両面写本 **opistho-** は裏面の意味（表だけでなく裏も）
- tomograph** X線断層写真**撮影**装置

H

-high (“高い”意味の接尾語)

- sky-high** きわめて高い意味の形容詞
- wasist-high** 腰までの高さを示す副詞・形容詞

-head (“頭, トップ”を意味する接尾語)

- flowerhead** 頭状花序（植物学）
- letterhead** レターヘッド。これは日本語化されている。
- masterhead** 傑作
- sorehead** 不平家

-hit (“～に襲われた”意味の接頭語)

- disaster-hit** 被災

I

-ia (“～症，～病”の意味か，またはその意味合いを込めた接尾語)

leukemia 白血病

xerostomia 口腔乾燥症

schizophrenia 精神分裂症

melancholia 鬱状態

-iasis (“病態”を意味する接尾語)

arthritis 関節炎 (arthr- 関節の)

elephantiasis 象皮病(バンクロフトフィラリアに感染して現れる症状のひとつ)

mydriasis 瞳孔散大，散瞳

miasis ダニ症

schistosomiasis 住血吸虫症，この原因虫は *Schistosoma* spp，この頭の s は必ず大文字である (分類の属名であるから)。

psoriasis 乾癬

zoonosis 文字通りの「動物病」でなくて，「人獣共通感染症」の意味である。寄生虫学会と獣医学会で解釈にズレがある。

-ic (特徴とか状態を示す接尾語で，形容詞をつくる⁵⁾)

scientific 科学的な

sporadic 散在する

therapeutic 治療の

traumatic ト라우マの，traumat- 外傷の

-ist (よく知られた接尾語で，～に特化した人)

naturalist ナチュラリスト

oncologist 腫瘍学者

parasitologist 寄生虫学者

pharmacist 一般に薬剤師の英語表現である。イギリス英語では **chemist** を聞く。ドイツ語では薬学者 **Pharmazeut**, 薬剤師 **Apotheker** などの語彙が NHK ラジオ講座テキスト『まいにちドイツ語』（2008 年 10 月号）に出てきた。日本語では～師と～士を明確に表記分けしているが、“～**ist**” とか “～**er**”（例えば **player**）に関する英語についてはどうなのか、今後とも関心を持続させたい。

physiologist 生理学者

-ite（“岩石”の意味の接尾語）

dendrite 神経細胞の樹状突起

dithionite 亜ジチオン酸塩

granite 花崗岩

hydrosulfite ハイドロサルファイト

malachite マラカイト, 孔雀石

meteorite 隕石

-itis（“炎”を意味し、臓器などにおける炎症を表す接尾語）

dermatitis 皮膚炎

gastritis 胃炎

gingivitis 歯肉炎 [gingiv- は“歯肉”の意味]

glossitis 舌炎

hepatitis 肝炎

mastitis 乳腺炎

periodontitis 歯周炎（接頭語 peri- には、“周辺”の意味がある）

poliomyelitis 急性灰白髄炎（いわゆるポリオ、昔は小児麻痺と呼ばれた）

stomatitis 口内炎

-ity (形容詞を名詞化する接尾語)

ignomity 不名誉, 屈辱

teratogenicity 催奇形性 (形成ではない)

carcinogenicity 発癌性

unity 統一性

utility 有用性

J

-ject (“投げる”意味の接尾語)

inject 注射する

project 前に投げる, 投影する, 計画のプロジェクト

reject (再び投げることから) 拒否する

K

-kane (アルカン **alkane** の接尾語) 一般化学式は C_nH_{2n+2} である。よく知られているように, 例えば次のようなものがあげられるが, 共通の語尾は **-ane** となっている。

methane メタン

ethane エタン

propane プロパン

-kene (アルケン **alkene** の接尾語)

一般化学式 C_nH_{2n} , 次の例では, 共通の語尾は **-ene** となっている。

ethylene エチレン

propylene プロピレン

-kyne (アルキン **alkynes** の接尾語) 一般化学式 C_nH_{2n-2}

acetylene (又は, **ethyne**) アセチレン

L

-like（“似ている，～のような” という意味の接尾語）ハイフンが付されていない語もある。

killer cell immunoglobulin-**like** receptor (KIR) キラー細胞免疫グロブリン様受容体；直訳でこのように長いので，KIR という略語が使われる。

leukocyte immunoglobulin-**like** receptor (LILR) 白血球免疫グロブリン様受容体；やはり直訳では長いので，LILR が用いられる。

morphine-**like** (morphinelike) モルヒネ様の

protean-**like** 変幻きわまりない (Protean の様な)

toll-**like** receptor (TLR) Toll 様受容体（侵入する病原体を認識して自然免疫を作動させる）

-lith（“石” の意味の接尾語）

aerolith (= aerolite) 石質隕石

gastrolith 胃石

megalith 巨石

odontolith 歯石

ureterolith 尿管結石

-logy（いうまでもなく“学問”を意味する接尾語）現在の日本で乱用し過ぎている。およそ学問と関係のないタイプの俗語分野でも見かける。

hysterology 子宮学

lithology 岩石学

oncology 腫瘍学

osteology 骨学

-lysis, -lyte（“溶解，解けること，溶かすこと”の意味の接尾語）これは，薬学系ではよく知られている。

electrolyte 電解質

endolysis エンドライシス（細胞などの内側での溶解，薬剤開発の候補として注目されることがある）

glycolysis 解糖

proteolysis 蛋白質分解

hemolysis 溶血

M

-malacia（“軟らかくなること”の意味合いの接尾語）接頭語ともなり，例えば **malacoma** は「病的軟化部」

cerebromalacia 脳軟化症

chondromalacia 軟骨軟化症

-megaly（“病的に大きくなること”の意味で使われる接尾語）

acromegaly 先端巨大症

splenomegaly 脾臓がはれること，脾腫（マラリアの三大徴候のひとつ，他には貧血，高熱）。

N

-ness（いうまでもなく，形容詞を名詞にする接尾語）よく知られている接辞であるが，和製英語では，意外と例が少なそうだ。おそらく，日本語では「形容詞の名詞化」が「～さ」で行われるからであろう。例えば，「美しい」→「美しさ」。しかし，その方面的的確な研究報告にまだふれたわけではない。

illness 病気

greatness 偉大さ

kindness 親切

poorness 貧弱，乏しさ。これらの訳語が，一応辞書には載っている。povertyの方がはるかに一般的な名詞であるが，意味内容とかニュアーン

スには大いに違いがありそうである。経済的な苦しさは **poverty** で、「抽象的な不足感」は **poorness**。この **poorness** も大きな英和辞典では、かなり用例が出てくる。

O

-oid（“類似的・似たもの”を意味する接尾語）

hysteroid ヒステリー様の

mastoid 乳様の

myeloid 脊髄性の

opioid オピオイド（アヘン様という意味であり、麻薬性鎮痛薬や関連合成鎮痛薬などのアルカロイドあるいは内因性モルヒネ様ペプチドの総称）

steroid ステロイド

tabloid タブロイド（商品名）

rheumatoid リューマチ様の

-oma（“腫瘍”の意味の接尾語）

carcinoma 悪性腫瘍

glioma グリオーマ（神経膠腫）

tracoma トラコーマ

sarcoma ザルコーマ

-osis（“病態”の意味の接尾語）

apoptosis アポトーシス（2番目の p は無声音）。「枯死」とも訳されるが、細胞の病的な死でない細胞死；細胞内小器官の構造は保たれながら DNA が凝集・断片化する。

arthrosis 関節症

athetosis アセトシス。病理学用語で、脳障害により手足や舌などが不随意に律動的な痙攣をする疾患

cirrosis 肝硬変

fibrosis 繊維

leukosis 鳥類の白血病 **narcosis** 無意識状態

necrosis 壊死

neurosis ノイローゼ（このカタカナ用語自体はドイツ語由来）

schistosomiasis 住血吸虫症

symbiosis 共生

-ous（名詞を形容詞化する接尾語）“形容詞的な特徴”を示すことになる。特徴のある属性をしめす²⁾

anxious しきりに希望する **arduous**

courageous 勇気ある **frivolous**, 浅薄 **frivory**

generous 寛大な

igneous rock 火成岩

intravenous 静脈内の

nervous 神経質な

poisonous 毒性のある

religious 宗教の

spontaneous 自発的な

fungous fungus 真菌 **humous humor** 腐食

P

-penia（“減少症”を意味する接尾語）

fibrinogenpenia フィブリノーゲン減少症

leukopenia 白血球減少症

thrombocytopenia 血小板減少症

-phagia（“食”の意味の接尾語） **phagocyte**（食細胞）は接頭語の例となる。

autophagia 自己消耗，自食。

odynophagia 嚥下痛，接頭語 **odyno-** はここでも“痛み”の意味である（前出）。

-plasia, -plasy（“形を成してゆく”意味の接尾語）

arthodysplasia 関節異形成

dysplasia 異形成

homoplasia 同組織移植術，**成因的**相同

hypoplasia 発育不全。 **hypo-** は“低い”意味の接頭語。

-plegia（“麻痺”の意味の接尾語）

blepharoplegia 上眼瞼麻痺

cardioplegia 心臓麻痺

hemiplegia 片麻痺（接頭語 **hemi-** は半分）

-poiesis（“増殖”の意味の接尾語）

hematopoiesis 血液生成，造血

-ptosis（“下垂”の意味の接尾語）

blepharoptosis 上眼瞼下垂

gastroptosis 胃下垂

Q

-que（様態を示す接尾語）

picturesque 絵に描いたように美しい様をいう形容詞

R

-rhage, -rhea (“相当多量の流出”を意味する接尾語)後者 **-rhea** の例は多いが、前者 **-rhage** の例は少ない。そのひとつを下にあげておく。**-rhea** も“流れ出ること”と関係した接尾語であるが、接頭語としての例に、**rheology** (流動学)がある²⁷⁾

hemorrhage 出血 (血液がにじむ程度ではない、かなりのもの)

diarrhea 下痢

gonorrhea 淋病

leucorrhea 白帯下

pyorrhea 膿漏, 歯槽膿漏

S

-sis, -ses (複数形) (“症状, 状態”を示す接尾語)

analysis (複数形 **analyses**) 解析

diagnosis (複数形: **diagnoses**) 診断

mitosis 有糸分裂

parasitosis, parasitoses 寄生虫症

sclerosis 硬化症

symbiosis 共生

zoonosis (複数形: **zoonoses**) 人畜共通症

-sphere (“球体”を示す接尾語)

astrosphere 星状体 (aster) の中心体 (centrosome) 以外の部分

biosphere 生物圏

hemisphere 半球

hydrosphere 水圏

lithosphere 岩石圏

oncosphere オンコスフェア。擬葉類条虫（サナダムシの仲間）のある段階の幼虫で、確かに球状を呈する。寄生虫学の専門用語で、いわゆる「大鉤幼虫」のこと。

-stasis（“停滞・鬱滞・安定”を意味する接尾語）

homeostasis 恒常性

metastasis 癌などの転移

T

-tome, -tomy（“切開”を意味する接尾語）接頭語としては、例えば **tomograph**（X線断層写真）に見られる。

anatomy 解剖

mastectomy 胸部除去術

microtome ミクロトーム

U

-uria（“尿”を意味する接尾語）

albuminuria 蛋白尿

chyluria 乳び尿；バンクロフト糸状虫感染で見られる主要な症状のひとつ（他に象皮膚病、陰嚢水腫¹⁷⁾）

glycosuria 糖尿

V

-vorous（形容詞語尾）、**-vore**（名詞語尾）（“～を食餌とする”意味の接尾語）

carnivorous 肉食性の、名詞形は **carnivore** **carnival** 謝肉祭は関連語

herbivorous 草食性の

sanguivorous 吸血性の、例：**sanguivorous parasite** 吸血性の寄生虫（例えば、鉤虫や住血吸虫が該当する）

W

-wise (“方法・方式・方向”を示す副詞の尾語に見られる接尾語)

clock-wise 時計回りに

crosswise よこなぐりの

lengthwise 縦方向の

quality-wise 品質に関して

stepwise 段階的に。生化学でカラムクロマトグラフィーにみられる。

-work (“はたらき、仕事、機能のある”ことを示す接尾語²⁷⁾)

handwork 手仕事

homework 宿題、米国では assignment

patchwork 継ぎ接ぎの作業・仕事

X

-xenous (“外来性の”という意味の接尾語) 関連で接頭語なら **xeno-diagnosis** 媒介体診断法 (体外診断法)¹⁷⁾ といい、中南米において伝統的に行われてきた (現在では、倫理的問題があるとされる)。**xenobiotic** (外因性化学物質, 生体異物) がある。

axenous 一者 a- は無い意味の接頭語, 即ち外から加えたものがないことに由来

euryxenous 多宿主性の (ある寄生虫が様々な宿主に寄生する意味)。例えば、旋毛虫は様々な哺乳類の筋肉に寄生する。eury- は “広い” 意味の接頭語。

stenoxenous 少宿主性の (ある寄生虫がごく限られた宿主に寄生する意味)。例えば、蟻虫 (ギョウチュウ) はほとんど人のみに寄生する。ネズミに寄生するギョウチュウはまったく別の種である。steno- は “狭い” 意味の接頭語。

-xylon（“木”の意味の接尾語）

hematoxylon ある種の樹木から染料を採るのでこのような接尾語がついている。ヘマトキシリンエオジン染色 **hematoxylon** (**hematoxylin**)
eosin 染色は病理学で大切な染色方法である。

Y

-y（“特徴・属性”を示す接尾語。または“～ちゃん”といった意味合いを添える⁵⁾）

angry 怒った

bounty 寛大, 補助金

creamy クリーム状の, ためになる

doggy ワンちゃん, **doggy** (**doggie** が正しい綴りらしい) **bag** は持ち帰りの袋

earthy 世俗的な

fuzzy ファジー（日本語となっている）

sloppy びしょびしょの

watery 水のような

Z

-zoic（“動物の生命活動やその様式”に関する接尾語）もちろん動物園 **zoo** も関係が深いが、植物誌もごく普通に含まれる。動物の生存環境としての植物群を考えれば、それも自然なことと思われる。

cytozoic 細胞内寄生性の, 細胞内に寄生の原生動物

enzoic “動物の間で感染症などが流行している”

paleozoic 古生代

mesozoic 中生代

cenozoic 新生代

資料1 英単語の語源に親しもう！
病と薬を表す言葉の成り立ち—特に寄生虫を例にとりて

英単語の語源に親しもう！
病と薬を表す言葉の成り立ち

特に寄生虫感染を例にとりて

目次

- はじめに-身近な例から
- 「医」と「薬」の漢字の成り立ち
- 医学と薬学の言葉の「分解」
- 医と薬の用語: 和文と英文の具体例
- 寄生虫を例にとりて説明
- 中米グアテマラの点景を挿入
- 付録) 同国の観光写真

中米グアテマラの国鳥ケツァール

• 写真
(牧 純撮影)



身近な言葉、バイオ

- 生物学
- Bio-logy 生物(bio)プラス学問(-logy)
- bio-technology
- バイオ・テクノロジーはさしずめ、「生物技
学」
- 「バイオサイエンス」も割りとし新しい言葉

シンポジウムもよく耳にする

- SymposiumのSym- は“共に”
- シンパ(親派)、これは偶々同じ
- シンパシー sympathy
- シンフォニー symphony
- Syno-nymは同義語、反対語はanto-nym
(ついでに、acro-nymは頭字語、つまり-nym
は「語」の意味)

アクロニムacronymまたは頭字語

- 「アクロ」は 頭の意味、アクロバット飛行
- 国際ベンクラブ、昔島崎藤村会長
- PEN 詩人(P)、随筆家(E)、小説家(N)
- JAL、ANAも頭字語
- 医学薬学の専門用語に多い、増える傾向
- サーズ SARS 重症急性呼吸器症候群

ゲノムも毎日のように耳目にする

- ジーン
- クロモソーム
- DNA デオキシリボヌクレオチド(この塩基配
列が犯罪捜査につかわれる)
- RNA リボヌクレオチド
- DNA→RNA→蛋白質が基本、セントラルドグ
マと呼ばれる

シェクスピアのハムレット

- 人名だがHam-letは「小さな村」の意味
- -letはよく出てくる (小さなもの)
- 例: パンフレットpamph-let、
ブックレットbook-let
- 血小板 プレートレットplate-let
- まさか、オムレツome-let、カツカツcut-let !

ブレック・ファースト

- Breakfast breakは破る意味、fastは断食
- 夜中、または眠っているときは食べないので、断食をしている、なんとそれを破るのが朝食
- Fast は“しっかり”の意味
- しっかりと抑える 断食
- ファースナーはfastener

デザート

- 食後テーブルから食器が運び去られ、ものがなくなる、その様子を「砂漠」に似ているとみる解釈もあり
- デザート desert (見捨てられた土地、砂漠)とdessert desservir des-分離sert serve 給仕する 食卓から不用なものを取り去る 17c初期 中世フランス語

医の字体の変遷

• 醫 → 醫 → 医

- 小川 鼎三著「医学の歴史」(中公新書)より

医の語源

古い字体は醫 医は箱の中に矢、交も手術道具、すなわち上は外科系

下は内科系、酉はお酒(発酵を伴う)の意味 醤油も発酵で造られる

医の漢字 変遷

- 醫 くすし 巫女
 - 醫 いやす くすし お酒
 - 医 いやす くすし 外科のみ
- 一番上はかなり古そうな字体、次のものは昔見かけた、その下は現在の字体、実は外科的。
- 英語の医学(medicine)は薬の意味あり、内科的。日米のこの違いが興味深い。

英語の病気、Dis-ease

- Dis-cover ディスカバーはカバーを取り払う意味から「発見」となる
- 昔、国鉄がキャッチフレーズとしたディスカバー・ジャパンを思い出そう！
- Dis- は打消し、easeは“楽なこと”
- easyなら分りやすい
- “楽でないこと”が病気のもととの意味

Malady

- Mal-は“悪い”意味
- Malignant 悪性の(悪性腫瘍などで用いる)
- Mal-aria マラリア(もとは“悪い空気”)
- 古代インドでは、蚊に刺されることが問題との認識があった
- マラリアで落命の歴史上の有名人:アレクサンダー大王、平 清盛

薬の語源

- 小川「医学の歴史」(中央公論新書)
- くさいり
- 病の苦しみを楽にしてくれる草の意味
- 薬学は「薬学」と振る(もじる)事があるが、現実にはちがう、講義と内外の実習など大変な勉強が必要

ペニシリン

- フレミング発見、真菌類の産物
- 抗生物質
- Penicillium アオカビの毛筆状の部分、小さなブラシ(小さなペニス)
- 語尾の-Iや -IIは小さなものを意味する
- 鉛筆pencilは"小さなペニス"とは仰天、でもほんと、子供、孫には伏せておこう!

ペニスpenis vs 半島peninsular

- 民間語源説は危険
- よく誤解されているが両者、関連なし
- 尾
- "ほとんど島"が半島
- Pencil
- くれぐれも表面的な結びつきは避けよう、
- (間違った例) 返答せん=扁桃腺

インポ(インポテンス)

- Impotent のim-は不可能の意味、potentは能力
- 勃起障害(ED)erectile dysfunction
- このdys-は打ち消し、否定の意味
- 有名なdis-coverのdis-も同じ意味
- カバーという覆いを取り去るの意味から
- ディスカバー・ジャパン 日本発見

精子と英語のセミナー

- セミナーSeminarがいわゆるゼミのもと
- 精子 semen 精囊 seminal vesicle
- 種子 seed
- 農耕で種を蒔く時期は、週単位で決まったことから
- Semester 学期

スペイン語のセマナも週

- Semanaは英語のセミナーSeminar
- ラテンアメリカなどのスペイン語圏でピンと来る響き、何とか週間
- セマナサンタ 復活祭 ラテンアメリカではスペイン以上に盛大かつ伝統重視のところがある。サンタは聖、例えばサンタクロース Santa Claus, サンタフェ Santa Fe 米国ニューメキシコ州の州都

復活祭セマナサンタ

- 教会内 聖週間における敷物(撮影 牧純)



セマナサンタ

- じゅうたん (撮影 牧純)



ドイツ語の医師

- 男性に偏ることが今では認められない表示
- 多分サラリーマンも問題表現、マンの替わりにパーソン(person)がよく使われる
- der Arzt
- die Aerztin
- der(die) ArztIn
- Doktor !

耳鼻咽喉科医

- 漢字の造語力は凄い！
- 英語で日常的にENTDクターというが、Ear-Nose-Throat ドクター Oto-larngologistが少し専門表現として使われる。もしも、日本語のように、あえてフルに言えばOto-rhino-pharingo-larngologistとなり、とても長い表現。

産婦人科医

- 産科・婦人科医
- Obstetrician & gynecologist
- その語源は？どちらが産科？
- 衛生公衆衛生 学も本当は衛生学・公衆衛生学(白馬非馬！)

ナースは看護婦、適訳？

- 看護師(士でない)がより適切
- 武士がもし“武師”だったら
- 保母さんも同様、今では保育師
- 男保母 “保父”さんなる表現も使われた
- ラテン語 nutrire 世話する
- nurseに「乳母」の意味あり、現代使われることも

保育士

- 保母(姆の字も)と長い間呼ばれてきた
- 男性の場合、「保父」と呼ばれることもあったが、俗称。当時、公式には「男保母」さん、何と矛盾の表現
- Governess 女性知事(庶務)、住み込みの女性家庭教師
- Day Nursery 保育所

師と士の違い

- 「広辞苑」によると
- 師：学問、芸芸を教授する人、専門の技術を職業とする者
- 士：一定の資格、役割をもった者
- 乞う、ご教示

薬剤師

- 江戸時代までの薬師(くすし)はお医者さんの意味 昔は今のような分業体制はとられず、ひとりが診察と調剤の両方をおこなった。
- 薬剤師を薬師(やくし)とすべきとの意見もあったし、現在もある。剤形のある薬のみを扱うわけではない(液体の薬も扱う)。しかし仏さまみたい(薬師如来?)とのことで、「薬剤師」となった。中国、韓国では「薬師」と表現。

薬学

- 薬の創製(基礎薬学者の担当)、生産[製薬会社の薬学専門家が活動]、管理(薬剤師の役割)の学問
- 人の健康に主として化学を通して貢献する学問、医学は主として生命を通して貢献、もちろん大幅な重複がある。

薬剤師、英語では？

- Pharmacist R.Pharm.のRはregistered
- Druggist
- Chemist(主に英国)
- [参考] 中国、韓国では薬師

ドクター、よくある誤解

- Dr. (Doctor)はもともと学術に長じた方に対する敬称、決して医師を意味する言葉出なかった。
- 現在の欧米では博士号所持者(博士課程での研究完了後または専門職教育を受けた後授与される)。日本でも。
- したがって英語でいうDr.誰それが日本文学の専門家であることも。
- 医師のDr.誰それは医学専門教育修了後

北里 柴三郎の読み方

- ドイツでの表記
Herr Professor Dr.Kitasato
- “ざと”なのか“さと”なのかー簡単には説明がつかない
- ドイツではProfessorは教職の教授とは限らず。会社の重役で、Professorの称号所持者もいる。すなわちDr.上の「学位」

(続)Professorは教授か

- ラテンアメリカやフランスなどでは、「教師」の意味
- したがって、小学校の先生はProfessor
- Prof.誰それと呼ばれる
- カレッジは学校の意味、必ずしも大学を意味しない

Pro- 前

- Pro-fession プロフェッション(人前でしゃべることから)
- Pro-gress プロGRESS
- Con-gress 共に「進む」
- Pro-peller プロペラ propel

行進,プロセション始まる

- 一度だけ
(撮影 牧 純)



復活祭のプロセション

- 荘厳な音楽とともに行進 (撮影 牧 純)



グアテマラの古都Antigua-大地震で 甚大な被害、18世紀

- Anti-とは別、antique 骨董
- スペイン語が話されるグアテマラでは、ラテン系統の表現があちらこちらに

古都アンティグア

- 地震で破壊された旧都首都より車で40分位
(牧純撮影)



Con- 共に

- Confess 告白する(神父さんと共に話すこと)
- コンベンションホールのコンベンション: con-は共に、ventionは来ること(スペイン語のvenirは来る意味)
- Concord コンコルド(英仏共同開発)、超音速機 マッハ2

Sub- 下

- Sub-way 地下鉄
- Sub-marine 潜水艦 マリンスポーツ
- 医学用語では、このサブのつく言葉がいっぱい
- Sub-cutaneous 皮下組織
- Sub-job
- Sub-leader
- Sub-note

Animo-

- Animal 動物
- Animation 動画、アニメは今や世界語
- Animism 木石信仰
- Animo! スペイン語 頑張る パルセロナオリンピックの女子マラソンで銀メダルの有森、アリモ(リ)!

Zoo 動物園と関連の語

- Zoom lens ズームレンズ
- Zoology 動物学
- Zoonosis 人畜共通感染症、語尾は症状を表す、ヒトでの対策が万全でも動物たちからヒトの世界に再び侵入

学名-(例) 広東住血線虫

- *Angiostrongylus cantonensis*
- 血液 円筒形のもの 中国の広東
- 人の苗字(属名)と名前(種名)に相当
- 分類: 界門綱目科属種
- 18世紀にスウェーデンのリンネが創始
- *Homo sapiens*
- ここでのホモは人の意味

犬とイヌ

- 学術で用いるときはカタカナで記す
- 桜も同じ、学術の世界ではサクラ
- 人とヒトは意味合いを異にする、使い分けが必要、少なくともどちらか一つに統一すること
- 「人」は日常、社会を意識
- 「ヒト」はサイアンスで用いる

-less

- あまりに有名な“なし” 日本語化している
- 何とかレス、英語にはないこともあり
- レスビアン(サッホーがいたギリシアの島の名前が由来)のレスとは無関係
- むしろレスの語源はレスビアンから

ゲンノシヨウコ

- 現の証拠:服用後びったりと治る意味
- 夏の食あたり、寝冷えによる下痢症に効く(難波、久保)
- 整腸薬

民間薬センブリ

- “千回振り出してもまだ”苦いという意味
- 開花時に採集した草全体を「当薬」という
- 日本特有の民間薬
- 胃腸薬、鎮静作用も、円形脱毛に効くとされる（保育社「薬になる植物」難波・久保著）

オタネニンジン

- 野菜のニンジンハセリ科、薬用のニンジンハウコギ科
- 江戸時代、朝鮮通信使の時代
- 江戸幕府ご下賜のニンジン 御種人參
- 日光で最初栽培

ワームアウェイ

- 昔あった虫下し 駆虫薬
- 何とも楽しいネーミング、「おなかの虫がawayする」
- 駆虫剤と殺虫剤の違い
- 小腸の寄生虫は決して殺虫する必要なし、
- 肛門から外に出せばよい
- 虫を殺すような薬は副作用も大きい

化粧品化学も薬学の1科目

- パヒュームperfume: 香料
- オーデパヒュームeau de perfume: 香料の水
- オーデトワレau de toilette: 化粧水
- オーデコロンeau de cologne: ケルンの水
- eauはフランス語で「水」

胃液Gastro-juice

- Gast ドイツ語で客
- Guest 英語の客
- Gusto 味覚
- いずれも食べることと関係する
- ゲストはもともと食客の意味であった

感染症は大きく3つ

- 寄生虫、真菌（真核細胞）
- バクテリア（原核細胞）
- ウイルス、プリオン（蛋白質性感染性粒子）
- その他:ダニ（節足動物）、シラミ、ハエウジ（昆虫）

寄生虫の話

- 肉眼で見えるのと見えないのがある
- 見えるのは“蠕虫”、見えないのは“原虫”
- 前者は多細胞、後者は単細胞
- パラサイトという言葉はよく耳にする
- 古くて新しい問題

Para- 並行、副、下

- Para-site
- Para-bola
- Para-lympic オリンピックと並行して
- Para-sol 太陽の下 sol は太陽「オオ、ソレミオ」
- Para-plui 雨傘 pluiは雨 カトリーヌドヌーブ主演「シェルブールの雨傘」を思いだす
- “Les Parapluis de Cherbourg”

寄生虫とは

- 単細胞の寄生虫と多細胞の寄生虫
- いわゆるパラサイト Parasite
- 単細胞の例: マラリア、トリコモナス
- 多細胞の例: 回虫、サナダムシ、肺ジストマ、アニサキス

ジストマ

- 肝ジストマ(吉野川流域に多かった)
- 肺ジストマ(四万十川流域に多かった)
- Di-stomach “口が2つある”意味
- 現代では「吸虫」が用いられる

肝ジストマ(肝吸虫)の感染源

- コイ、フナはじめ次のような淡水魚の生食で感染
- モツゴ
- タナゴ
- ヒトの胆管に成虫寄生、虫卵は外へ。まずメタニシ、次に淡水魚に寄生。タニシをたくさん食べてもこの寄生虫に感染しない

回虫

- 戦後、国民病といわれた回虫症、国民の8割が感染していた。
- 回文の例1 “たけやぶやけた”
- 回文の例2 “恋なんかわかんない娘(こ)”
- 回文の例3 “だんすがすんだ”
- 回虫は頭と尾が似た形、英語では roundworm ラウンドワーム

参考とした資料と文献

- 1) 編集代表石田名香雄：『医学英和辞典』研究社（東京）（1999）
- 2) 横田眞二：素材から見る『からだと病の英単語』－語源中心医用英語の持つ秘密－，南雲堂フェニックス（東京）（1999）
- 3) 編集代表小稲義男：『新英和大辞典』第5版，研究社（東京）（1992）
- 4) 岩崎民平・小稲義男監修：『新英和中辞典』第4版15刷，研究社（東京）（1977）
- 5) 西川盛雄著：『英語接辞研究』開拓社（東京）（2006）
- 6) 大木道則等編集：『化学大辞典』東京化学同人（東京）（1994）
- 7) 中村保男：『楽しむ英語』第8版，中公新書（1979）
- 8) 小西友七・南出康世：『ジーニアス英和辞典』第4版，大修館書店（東京）（2007）
- 9) 電子辞書 SHI (Seiko Instruments Inc.) (ジーニアス英和大辞典等を内蔵)
- 10) 加藤勝治編：『医学英和大辞典』南山堂（東京）（1974）
- 11) 欧米経済リポート 読売新聞 編集手帳（2011年10月9日朝刊）
- 12) “Genius English-Japanese Dictionary” 4th edition Taishukan（2007）
- 13) 小松勇作編：『数学英和・和英辞典』共立出版株式会社（東京）（1979）

- 14) 多賀出版編集部編：『英和経済学用語辞典』多賀出版（東京）（1998）
- 15) 東匡伸ら編集：『シンプル微生物学』改訂第5版，南江堂（東京）（2011）
- 16) 北川勲等：『生薬学（第4版）』廣川書店（東京）（1992）
- 17) 吉田幸雄，有蘭直樹：『図説人体寄生虫学』第8版，南山堂（東京）（2011）
- 18) 渡部昇一：『英語の語源』講談社（東京）（1977）
- 19) 学校法人河合塾：準備シリーズ・英語 語源中心 新方式語彙力拡充法（開講前の必須ガイド・ブック）（1969）
- 20) 東京大学教養学部英語部会〔編著〕：『東大英単』初版第6刷，東京大学出版会（2009）
- 21) 斉藤謙三先生追悼文集編集委員会：『斉藤塾』（浜松），同委員会編集・発行（1986）
- 22) 牧 純：医学英語シリーズ－医学部2年生を対象としたある医学英語教育の試み，医学教育 33(1)，63-64（2002）
- 23) 牧 純：“病と薬を表すことばの成り立ち”，新居浜生涯学習大学，松山大学公開講座－ことばで巡る世界の歴史と文化－新居浜市生涯学習センター，8月22日（2009）
- 24) 牧 純，関谷洋志，渡部真衣，玉井栄治，坂上宏：接頭語から入る薬学系の英単語のAからZまで（ノート），愛媛県病薬会誌，通巻110，15-18（2012）
- 25) 牧 純，玉井栄治，関谷洋志，田邊知孝，舟橋達也，古川美子，野元裕，河瀬雅美，坂上 宏：薬学・科学に用いられる英単語の接頭語に関する基本的検討，言語文化研究，32（1-2）285-333（2012）
- 26) 牧 純，玉井栄治，関谷洋志，舟橋達也，田邊知孝，坂上宏，河瀬雅美：薬学・科学用語を中心とした接尾語のAからZ（ミニレビュー），愛媛県病薬会誌，通巻112，21-24（2013）
- 27) 牧 純，関谷洋志，田邊知孝，坂上宏，畑晶之，玉井栄治，舟橋達也：薬学・科学で用いられる英単語の接尾語に関する基本的理解の試み，言論文化研究，33(2) 189-265（2014）
- 28) 牧 純，玉井栄治，関谷洋志，舟橋達也，田邊知孝，坂上宏，河瀬雅美：薬学・科学用語を中心とした頭字語のAからZ（ミニレビュー），愛媛県病薬会誌，113，11-14（2014）
- 29) 国際保健医療学会編：『国際保健医療学』第3版，杏林書院（2018）
- 30) 岩田一男：『英単語記憶術－語源による必須6000語の征服』第40版，Kappa Books（1967）
- 31) 前田ら：『内科学』251-252，医学書院（2014）